

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年 1月 14日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105040
法人名	錦江建設株式会社
事業所名	グループホームぶどうの木
所在地	〒891-0105 鹿児島県鹿児島市中山町5286番地 (電話) 099-821-1011
自己評価作成日	2010/10/19

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kagoshima-kaigonet.com/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=4670105040&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市 真砂町54番15号
訪問調査日	平成22年11月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・踊りや太鼓、短歌、詩吟、電子ピアノを弾く等、趣味・特技をもった方が多いので生活の中で、それらを取り入れ楽しんでいただき、又、行事の際は、発表の場を儲け、ご利用者にはりあいを持っていただけるようにしている。
- ・庭には、季節の花や果実の木を植え、又、夏場はご利用者の部屋から緑のカーテンを楽しんでいただけるように窓下に野菜を植え、季節を感じていただけるようにしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島市南部の郊外に位置し、沿線の道路から程近い静かな田園地帯に囲まれた中に建っている。管理者の「利用者を大事にする職員をも大事にする」という理念が職員につたわり、利用者・管理者・職員の仲が良いのが印象的であった。楽しく自立支援が行われるようにと遊びとリハビリテーションを基本に日常の業務の少しの空いた時間に随時取り入れている。利用者と職員の明るい笑顔と心地よい楽しそうな声が響く居心地のよいホームである。

【優れている点・工夫点】

1. 職員を育成する取り組み

外部の研修への参加には勤務体制を配慮したり、ホーム内では定期的に研修が行われている。資格取得時にはホームからお祝い金が支給され、職員同士が助け合いながら、資格取得や質の向上に向けて取り組みを行っている。

2. 隣近所とのつきあい

調査時にも隣接の畑の住民から利用者に声かけがあり、楽しそうに談笑する姿は印象的であった。防災訓練は元より、高齢者の相談・話し相手として地域の中核となっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	満たされた暮らしの実現を支援し、理念を実践している。例えばより家族に近い関係づくり、外出や運動、食事に気を配るという理念では花見へ外出、利用者様の好きな食べ物を食べていただいたりしている。	理念には「地域と共に」などの言葉を含み、地域に根ざしたサービスを意識できる内容が盛り込まれている。理念を掲示するとともに、申し送りやミーティングにて実践的にむけて具体的に話し合っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し地域行事に参加したりホームでの催し物に地域住民が参加して下さる。近所の独居高齢者との交流も大切にしておりしめ縄作りやぶどうの木の肥料やりや入居者散歩中に花や野菜や手作りの菓子をいただく等密に交流を図っている。	設立時より自治会に加入し、回覧板の受け渡し、清掃活動や催しごとへの参加、公園等への散歩で出会う地域の方へのあいさつや声かけなどにより関係作りに力を入れている。学校等との交流会やボランティアの受け入れのほか、地域住民から野菜の差し入れがあるなど日常的な交流が行われている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	事業所で行う行事に地域の方を招き、認知症の方との交流を通じて、理解を深めていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、入居者の状況や活動内容等の報告を行っている。出された意見や要望は話し合いを持ち、サービスの向上に活かすように取り組んでいる。	2ヶ月に1回開催され、事業所行事等の報告のみではなく、出席者の意見や助言などがあり、有意義な会になっていることが議事録より確認できる。ただ、外部評価等の報告について確認できなかった。	今後は、外部評価の結果報告や改善への取り組み状況等について報告や話し合いを行う意向である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の担当者と入居者の状況について情報交換や相談を行いながら連携を図っている。市の介護相談員も受け入れ、入居者のサービスの質の向上に向けた取り組みをしている。	頻繁に市担当窓口や福祉事務所などへ事務手続きや広報誌の配布・その他の機会に訪問し問題や事故や認定手続きなどの情報交換を行うなど、協働してサービスの質の向上に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	月に1～2度 身体拘束について勉強会を開き話し合いをしている。日中は玄関の鍵をかけずに自由な暮らしを支援し、拘束のないケアを実践している。	マニュアルを作成し勉強会を行い、玄関をはじめ各居室に鍵をかけない自由な暮らしの支援を職員の努力で実現している。職員は常に利用者の状態を把握し、外出されるときにはさりげなくついて出たり、見守りを行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月に1～2度 勉強会を行い、虐待防止について学ぶ機会を設けている。管理者や職員は虐待がないか常に注意を払い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を今後設ける予定である。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書を見ていただき利用者、ご家族の方に理解・納得していただき契約の際、不安を無くし疑問に答えるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時や運営推進会議、家族の来所時、敬老会、誕生会等で意見や要望を出してもらうよう働きかけている。出された意見は話し合いを持ち、解決に向けた取り組みを行っている。例えばもっと外出をさせてほしいと意見があった際は買物に同行していただいたり図書館や散歩へ定期的に外出したりしている。	重要事項説明書に相談窓口を記載するとともに、家族会も定期的に開くなど家族が意見や要望を表しやすいような工夫と配慮が感じられる。職員が苦情などを把握した時には苦情報告書や雑書綴りで他の職員と共有し、必要な場合は職員会議で話し合い、本人や家族に報告するなど速やかな解決を図っている。また第三者委員の配置もあり、玄関に掲示されている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティング等で、意見や要望を出してもらい、その都度出された意見は話し合いを持ち解決に向けた取り組みを行っている。	朝礼、勉強会、ミーティング時に勤務体制などの話し合いをもったり、気軽に声をかけやすい雰囲気づくりに心がけている。また悩みがありそうな職員には個別面談を行い問題解決を図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は、管理者や職員個々の全ての状況を把握し、残業をさせない、休暇を取らせる等働きやすい環境をつくるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間の研修計画をたて、外部研修は交替で参加し、伝達講習を行い、管理者や職員一人ひとりのケアの質の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区のグループホームの勉強会を行ったり、近隣のグループホームと相互訪問する関係を築き質の向上に向けた取り組みをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	要望があれば良く話を聴き、要望が叶えられるように努力している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の要望がある事を前提に聴く機会をつくり叶えられるように努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まず必要としている支援を話し合い、管理者、ケアマネージャー、介護主任の立場から意見を出し合い検討し、家族の不安を取り除けるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者は、人生の先輩であるという考えを職員は共有している。日常生活の中で入居者に教わる機会をつくり、三味線や太鼓打ち、木の剪定等、本人の趣味や特技を活かし共に支えあう関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホームでの利用者様の生活状態や問題点を報告し、話し合う中で、信頼関係を築いていけるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場との交流には、支援に努め職場は共有し、信頼につなげている。	個人情報シートや個人別面談記録を活用し、利用者を支えてくれていた人間関係を把握するとともに、関係を継続できるよう面会、電話の支援や、なじみの店への買い物などの支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の方々の特徴、性格を職員は把握して、声をかけ合ったり、支え合うよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	できる限り退居後の利用者の様子を、機会を捉えてお聞きしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員は、利用者の希望や不安等生活の中で聞き取ったり、アンケートをとるなどして、希望や意見を叶えている。本人の希望が困難な場合、家族や職員で話し合い希望に近付けるよう努力している。	利用開始前に本人や家族、関係者からどのように暮らしたいかを聞き、アセスメントシートなどに記載し、介護計画に活かしている。入居後は日々のかかわりの中で本人の意向をくみ取り、ケア会議などの場やケース記録を活用して職員間の共有をはかっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	それぞれの生活歴や生活環境の把握に努め理解し、介護にあたり笑顔を多く見られるように努力している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々、お一人ひとりの顔の表情、動作を捉え家族の力も借りながら心身状態を把握するよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族、医療機関、職員等で、サービス担当者会議を開催し、自立支援と尊厳に向け、どのような支援が必要かそれぞれの立場で意見を出し合い、結果を導いている。会議に出席できない方には電話等で意見を伺っている。	本人、家族も参加した担当者会議を開き随時主治医に相談し、話し合いながら計画を作成している。また、ミーティングで介護支援専門員と職員が話し合い、介護計画を作成することで、職員はすべての利用者の介護計画を把握して日常の介護を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日勤、夜勤それぞれの記録をつけ、日々申し送りをし、利用者の方々の変化を話し合い利用者様一人ひとりに応じたケアができるように取り組んでいる。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族の状況やニーズに応じて相談にのり、出来る限り支援するように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	一人ひとりの暮らし方を支えている。地域資源として必要に応じて民生委員、消防の方に相談している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々のかかりつけ医を尊重し、本人、家族の納得のもとで継続的に医療を受けられるように支援している。	かかりつけ医は入居前からかかっている医療機関に本人や家族の意向を大切に決めていく。治療受診時も適切な治療が受けられるように健康記録簿等で情報提供に努めており、良い関係が作られている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	健康状態を把握し、異常に気付いた時は、かかりつけ医療機関の看護師に相談し、医師より助言・指導を受けられるよう連携を図っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者様のご家族が、お忙しい時は、職員が代わりに毎日病院を見舞い主治医からの報告を家族に伝える等して利用者様、ご家族様の不安軽減に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合でもホームで出来る限りケアをしていくが、十分なケアが提供出来なくなった場合は、ご家族の方に十分理解していただけるように説明を行っている。	重度化した場合や終末期のあり方について事業所の指針を定めており、家族に説明し同意をもらっている。その後も必要に応じて本人や家族、かかりつけ医と相談、話し合いを行い職員の共有も図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防訓練の中で、人工呼吸方法やAEDの使用方法を学んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に災害時の訓練を行っている。避難方法も全職員が理解している。</p>	<p>夜間体制を含む避難訓練や消火訓練を行うとともに、マニュアルを作成し研修にも取り組んでいる。地域住民には回覧板で理解を呼び掛けた結果協力して災害対策を行う体制を整えている。非常災害時の必要な備品の管理も行われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お一人ひとりの人格を否定しないような言葉や対応について定期的に勉強をしている。職員一人ひとりが言葉使いに気をつけている。	玄関に方針が掲示され、利用者への言対応には十分注意し自己決定しやすい言葉かけを心がけている。また、記録等は事務室の鍵のかかる棚に保管し外来者の目につかないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様 一人ひとりの意志を尊重するため聴き取りから本人の希望を見い出すように努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様 一人ひとりのペースや時間を優先し、希望にそって支援するように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	理・美容師にホームまで出張カットに来てもらい希望にそってカットしてもらっている。行きつけの理容室に行く方は、その都度送り迎えをしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りや後片付けが出来る人には手伝っていただき、楽しみの一つとして取り入れていくように努めている。	自家菜園や差し入れていただいた野菜を見ながら食事の希望を聞き、献立を考えたり、旬の食材の利用や配膳、下膳を行ったりすることで食への興味を持ってもらうよう工夫している。食事は職員も一緒に会話を楽しみながらとっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	毎食後、食事量、水分量を チェックし、記録に残すように している。何か変化があれば直 ちに対応できるように気をつけ ている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の 力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、誘導や見守りにて口腔 ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣 を活かして、トイレでの排泄や排泄の自 立に向けた支援を行っている	排泄の失敗やおむつの使用を減 らすために定期的にトイレへ行 くよう声かけを行っている。足 の悪い方は時間を記録して職員 が交替で排泄の支援を行ってい る。	過去におむつはずしの前例もあり、 24時間単位の表を作成し、本人の 生活リズムを確認、把握しながら自 立へ向けて支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、個々 に応じた予防に取り組んでいる	日々の排泄チェックでお一人ひ とりの状態を把握し、便秘の方 には、水分、食事、運動に気を つけ支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日を決めているが希望者には、毎日入浴できる体制にある。入浴を拒む時は、対応を工夫しながら入浴できるように支援している。	体調や希望により入浴やシャワーなどの対応ができる。入浴を嫌われる方にはできるだけ声かけのタイミングを工夫したり、足浴などに変更したり個々に合わせて入浴の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人ひとりの生活習慣を把握し、疲れてないか、眠そうにしているかをよく見て、声かけを行い居室で休んでいただくよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お一人ひとりの服用状態を常に把握し、用法や用量を間違えないように毎日、日付の確認や本人の確認をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者の生活歴や趣味を考慮しながら庭木の剪定、梅干し、キンカン漬、歌、踊り、読書等、個々の得意分野を発揮し、日々の生活を楽しめるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的には、ホーム周辺の散歩に出かけたり、図書館や買物外出の支援を行っている。又、みかん狩り、花見（桜、ばら、コスモス）、ソーメン流し、外食を楽しむ等、戸外に出かけられるように支援している。	自家菜園がホームのまわりを囲み、天気の良い日は農作業や外気浴が行われている。また、本人の希望に応じて買い物、ドライブ、外食など戸外に出かけられるように配慮し、気分転換やストレス発散、五感刺激の機会として外出支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お一人ひとり必要なものがあれば希望を聞き、その都度職員が買い物に行き、お渡ししている。お金の管理が難しいためお財布のみお渡ししている利用者様もいる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者様の希望があれば、本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるよう職員が支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>広々とした共有空間には、テーブルやソファが置かれ思い思いの場所で過せるように工夫している。玄関横には、ぶどうの木や季節の花が植えられ、側にベンチを設置している。面会や宿泊ができる部屋も用意されている。</p>	<p>整備された自家菜園や中庭はとても気持ちよく、共有空間には絵画や花が飾られている。広いリビングでは思い思いにくつろぐことができるスペースが確保され、日差しが差し込み明るく、心やすらぐ家庭的な雰囲気だだよい、居心地よい空間となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>お一人ひとりのお気に入り場所や空間を把握し、その場所にイスを用意したりクッションを置くなどして過ごしやすい空間づくりを工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には、テレビや仏壇、写真、布団、椅子等の馴染みの品が持ち込まれて、入居者は安心してゆったりと過ごしている。	家族とも相談し一人ひとりの希望や状況に応じて仏壇、家具、電気ポット、冷蔵庫、コタツ等様々な馴染みのあるものが持ち込まれ家庭的で居心地のよい空間となっている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	建物内部は、段差をなくしたバリアフリーの作りになっていて、廊下、トイレ、フロア、浴室には手摺を設置している。又、各用途毎の部屋には標示をし、ご利用者に分かり易くしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない